



古田史学の会

入会のご案内

■ 多くの会員が古田氏に触発されて、自分でも古田説をさらに展開しようと、例会に発表し、会報に投稿されています。

- ・ 「古田史学の会」は1994年4月に結成され、活動は15年目に入りました。現在、札幌・仙台・名古屋・大阪・松山で例会を行ない、それぞれ会員が自分たちで勉強したことを発表し、情報交換をしています。また現地見学会も、関西、東海を中心に盛んに行っています。このような各地例会での交流を通して、古田氏の説を学び、さらに新しい見方を探る活動をしています。
- ・ 例会や現地見学会での交流の中から、会報「古田史学会報」（年六回）や機関誌『古代に真実を求めて』（年一回発行）の投稿が数多く行なわれています。会報発行は今年6月で86号となり、機関紙は次回発行の第十二集を準備しています
- ・ またインターネットでは、古田武彦氏の著作集抜粋・講演記録・著作索引、そして「古田史学会報」（現在七十号まで）、さらに「市民の古代」論集や会員の電子書籍（『中村幸雄論集』・『神武が来た道』）などを公開しています。必要な論文は検索機能により簡単に見つけ出すことができます。多くの方に有効に利用され「古田史学の論理と方法」をさらに理解してもらうべく活動をしています。さらに英文ホームページの充実も図っており、海外からのアクセスも増えています。

■ 志を持たれたら、会費を振り込んで連絡して下さい。

- ・ あなたも古田氏の著作や講演記録、そして『古代に真実を求めて』や「古田史学会報」を読まれて、興味をもたれたなら共に研鑽するため入会しませんか。そして会報・論集に投稿して下さい。また古田氏の活動を支援するために入会してください。よろしく願いいたします。

<年会費>

3000円／年(会報年六回)

5000円／年(会報年六回+機関誌『古代に真実を求めて』一号分)

郵便振込口座 01010-6-30873 古田史学の会

メール sinkodai@furutasigaku.jp

古田史学の会

会長 水野孝夫

事務局長 古賀達也

【事務局】京都市上京区河原町通今出川下る 古賀達也方

【電話番号&FAX】075-251-1571

申込み・連絡は【事務局】もしくは”sinkodai@furutasigaku.jp”迄、お寄せください。

「古田史学の会」の活動

1) 活動の目的 (会則第二条)

- ・ 本会は、古田武彦氏の研究活動を支援し、旧来の一元通念を否定した氏の多元史観に基づいて歴史研究を行い、もって古田史学の継承と発展、顕彰、ならびに会員相互の親睦をはかることを目的とする。

2) 「古田史学会報」の内容 (08年6月発行の86号目次)

- | | |
|---|-------|
| ○ 古写本「九州年号」の証言 | 古賀達也 |
| ○ 伊倉 5 ・ 天子宫は誰を祀るか | 古川清久 |
| ○ 自我の内面世界か俗流政治の世界か ・ 漱石『心』の理解をめぐって(その三) | 山浦 純 |
| ○ 伊勢王と筑紫君薩夜麻の接点 | 正木 裕 |
| ○ 「白鳳以来、朱雀以前」考 ・ 『続日本紀』神亀元年、聖武詔報の新理解 | 古賀達也 |
| ○ 「トロイの木馬」メンテナンス | 富川ケイ子 |
| ○ わたしの古代史仮説 | 水野孝夫 |

次回は08年8月発行

3) 会誌『古代に真実を求めて』 (08年3月発行の第十一集目次)

- | | |
|---|-------|
| I 特別掲載 | |
| ・ 「講演記録」寛政原本と学問の方法 | 古田武彦 |
| ・ 「講演記録」人類と日本古代史の運命 ―歪んだ教科書― | 古田武彦 |
| II 研究論文 | |
| ・ 寛政原本と古田史学 | 古田武彦 |
| ・ 最後の九州年号 ―「大長」年号の史料批判― | 古賀達也 |
| ・ 続・最後の九州年号 ―消された隼人征討記事― | 古賀達也 |
| ・ 不破道を塞げ ―壬申の乱は九州― | 秀島哲雄 |
| ・ 武烈紀における「倭君」 | 富川ケイ子 |
| ・ エクアドルの大型甕棺 ―倭国南海を極める。光武以って印を賜う― | 大下隆司 |
| ・ 皇歴年代算定についての試案 | 飯田満磨 |
| ・ 『日本書紀』「持統紀」の真実
―書紀記事の「34年遡上」現象と九州年号― | 正木 裕 |
| ・ 万葉集二十二番歌 | 水野孝夫 |
| III フォーラム | |
| ・ 呪符の証言 | 林 俊彦 |

次回は2009年3月発行。投稿を募集しています。

4) インターネット「新・古代学の扉」 担当:横田幸男

- ・ <http://www.furutasigaku.jp/jfuruta/jfuruta.html>

5) 入会申込み書

「古田史学の会」入会申込み
・ 住所
・ 氏名
・ 電話番号
<通信欄>
・ 一般会員 or ・ 賛助会員 (どちらかを○で囲んでください)

(一般会員:会費3千円、会報年6回送付。 賛助会員:会費5千円、会報年6回+会誌『古代に真実を求めて』一部送付)